



(財)軽井沢大賀ホール常務理事・支配人

# 大西泰輔さん

軽井沢駅から徒歩7分。国道に面した大きな池とそこに掛かる長さ160mもある木造陸橋が目をひく矢ヶ崎公園の敷地に、軽井沢大賀ホールが建っています。池やその周りでは愛らしいカルガモたちが遊び、浅間山や離山を同時に眺める事の出来る、このような自然豊かな環境の中に世界最高水準の音場空間が誕生しました。今年で開館5周年を迎え、軽井沢大賀ホールに携わった方々や、創設者である大賀典雄さん（元ソニー名誉会長）の音楽やホールに対する思いを、開館以来支配人を務める大西さんにお話を伺いました。

開館当初から支配人として大賀ホー  
ルを盛り立ててきている大西さんです  
が、大賀さんと大西さんの付き合いは  
いつからなんですか？

**大西** （株）CBS・ソニーレコード

現在のソニーミュージックエンタテイメントに入社した時からです。その前は広告代理店である（株）博報堂にいました。5年ぐらい勤めていましたが、自分から何か発信できるような仕事がしたいと思うようになり、そんな矢先（株）CBS・ソニーレコード設立による職員募集の話と出会った訳で

す。その面接官が大賀さんでした。70人採用の所7000人の応募があつたそうです。

大賀さんからは、幅広い人生観から色々教えて頂きました。大賀さんは感動を求める方で、五感が満足出来るものへの追求をするんですね。この大賀ホールの建設の場所も、町内していくつか候補を上げてくれてあつたようですが、最初に案内されたこの場所で、他は見ずに即決だったようです。私もこの場所を見て、なほごなど感じましたよ。

私が大賀ホールの支配人の話を頂



演奏者と聴衆が一体となり音楽を共有することが出来る  
世界最高水準の音場空間「軽井沢大賀ホール」

いたのは、退職して間もなく。ホール建設の話は、各社新聞でも大きく紙面に取り上げられた程で、誰もが知っているものでしたから、一緒に設計図が出来ていて、シンボルとなつている五角形のホールの形になつっていました。

**大西さん自身も音楽をされるんですねですか？**

**大西** 音楽は昔から大好きで、個人的にですけどやつていました。博報堂にいた頃には、4人でカルテット

の同期でボーカルグループがいて、その人がトップテナー、私はベースをやり他のパートも社内で声をかけたら集まつたんですよ。歌だけじゃなく、楽器も演奏していました。

**こここの音響は素晴らしいと定評がありますが、五角形のホールは世界でも珍しいんですか？**

**大西** もちろん日本には大賀ホールしかありませんし、世界で見ても五角形というのはありません。（変則7角形という形はベルリンにある）平行壁面のない五角形は、音が交じり合つことのない理想の形なんですね。大賀さんは「シユーボックス＊タイプじゃなく、サラウンドタイプ。規模は中規模地元の青少年たちも使えるように。音響は世界一を目指せ。」と言つています。だから、設計施工に携わった方達は、大賀さんが良いというホールは観察してまわつたそうです。

音の残響時間にもこだわりがあり、一般的には2秒が美しいという風潮があつたんですが、それは大ホールでの話で、中規模の大賀ホールでこれをやつたら響きが大きすぎて大変なことになります。そこで、過去の事例などを参考に、出来上がるまで、測定器で残響を計る必要はないという大賀さんの

を作つてやつていましたね。当時はロックやポップスなどといっジャンルは日本にはまだなく、ダークダックス、デューク・エイセスなどのボーカルグループが流行っていた時代で、博報堂

指示があつたらしいのですが、見事計つたかのように理想の空間が出来上がりました。

### ホール誕生のきっかけは？

**大西** 大賀さんが、ソニーの名譽会長を辞めた時の退職金16億円を授じて建設したということは知られているかと思いますが、奥様が「この退職金を使つて軽井沢にホールを建てましょ

う」と提案したのが大きなきっかけだつたようです。大賀さんの奥様は戦時中、諏訪に疎開して暮らしていて、諏

訪から軽井沢に同じように疎開していたピアニストの所に通つてレッスンを受けていたそうなんです。現在、軽井沢の名は有名で、県内外から大勢の観光客が来て賑わう街ですが、音楽会を催すような場所がなかつたんですね、大賀ホール建設前は、奥様にとっては、思い出の場所である軽井沢がそれじゃ寂しい、音楽堂を建てて寄贈しようと決まつたそうです。

**オープニング当初は一階が660席、二階が立ち見席となつていたようですが、中規模クラスのホールの設定といふのは、どうやって決めたんですか？**

**大西** コンサートだけでなく、レコードティングの場所として使つて頂いています。観光シーズンではない、冬の閑散期は空気が乾燥し、音が透き通つて聞こえるため、この時期をねらつてレコードティングをするアーティストも多くいらっしゃるんです。

レコードティングは、3～4日もかけて行うものなので、自然豊かな環境の中での音も良いとなると、またここでやりたいとおつしやる方は沢山いるですね。他のホールでは考えられないのですが、ホール内に細い窓がいくつあることこのホールはいいんですよ。

から新幹線で来られるお客様が多く、全席完売になる満員御礼でした。今年は5周年ということもあり、二階席の立ち見席、だつた所を、椅子席に改修しました。世界各地のホールを知っている大賀さんは、「外国のホールには、お金のあまりない学生たちが安い料金でコンサートを聴く事ができる立ち見席がある」と、これを大賀ホールにも取り入れた訳なんですね。ただ大賀ホールは、実際聴いてもらえば臨場感が伝わると思いますが、フルオーケストラの演奏も、楽器一つ一つの音がちゃんと聞こえるぐらいすばらしい響きなんですよ、さらに、この二階席が最高にいい音なんです。中規模ホールであるため、客席とステージがとても近く、演奏者と聴衆が一体となり、音楽を楽しむことが出来るんですよ。

\*シユーボックス  
コンサートホールに最も多い長方形の型。靴箱の形に似ていることから、このように呼ばれている。



大西さんは、大の音楽好き。とても気さくに応じる。子供でも大人でもアマチュアの方でも著名な音楽家でも。



軽井沢少年少女合唱団  
ホールでの経験を糧に軽井沢から世界に向けて  
大きく羽ばたいてと願う

## PROFILE

### 大西泰輔(おおにし・たいすけ)

経歴/

1963年(昭和38年)3月青山学院大学英米文学科卒業  
同年(昭和38年)7月  
(株)CBS・ソニーレコード入社  
(現)ソニーミュージックエンタテイメント  
1980年(昭和55年)企画制作一部(洋楽部)部長  
1986年(昭和61年)取締役(洋楽担当)  
(株)CBS・ソニーコミュニケーションズ 常務取締役  
1988年(平成元年)代表取締役専務  
1989年(平成2年)代表取締役社長  
1993年(平成5年)  
(財)ソニー音楽芸術振興会専務理事  
2003年(平成15年)同顧問  
2004年(平成17年)  
(財)軽井沢大賀ホール常務理事・支配人

### 軽井沢大賀ホール コンサートスケジュール

9月11日(土) 綾戸智恵 with ジュニア・マンス・トリオ  
11月20日(土) 平原綾香  
12月25日(土) バッハ・コレギウム・ジャパン「メサイヤ」  
2011年  
1月 2日(日) 渡辺貞夫 New Year Concert 2011

■公演のお問い合わせ  
軽井沢大賀ホール TEL0267-42-0055  
■チケットのお申し込み  
軽井沢大賀ホールチケットサービス TEL0267-31-5555

外の明るさや緑の季節には緑が、冬は雪が眺める事ができ、天気がよければ浅間山も見えます。レコードティング作業は缶詰になりますから、その風景が息抜きになるんですよ。

**先日「開館5周年記念 春の音楽祭 2010」が行われたんですね。**

**大西** はい、軽井沢大賀ホール開館5周年を記念して、ゴールデンウイークの4月29日～5月5日までの7日間毎日公演を行いました。東京フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団・オーケストラ・アンサンブル金沢・郷ひろみ、NHK交響楽団、ヴィーン少年合唱団の方々の出演で盛大に行いました。また、オープニング公演では東京フィルハーモニー交響楽団の会長・理事長を務める大賀さんが同楽団を指揮しました。もともと大賀さんは指揮の

だけ、知名度のあるオーケストラやアーティストの方々の参加というのではなく、運営に携わる大西さんの40年間にわたる音楽業界で培ってきたビジネス感覚、手腕、人脉なども関係していますね？

**大西** 今までの私の経験が大賀ホールの運営に少しでも生かせればと思いますね。

ここの大賀ホールは音響が良いので海外でのレコードティングをキヤンセルしてまでこちらでレコードティングをしてくださった方がいたり、それも皆世界的に有名な方々で、本当に嬉しくて歌ったり演奏したりするのを楽しめられて、大きな方�이나, 그들이 재미있어하는 것처럼 보입니다. 그들은 그들의 경험과 재능을 통해 다른 사람들에게 영감을 주고자 노력합니다. 그들의 활동은 세계적으로 인정받고 있으며, 그들이 대회에 참가하거나 공연을 했을 때마다 관객들은 그들의 능력을 칭찬합니다. 그들은 그들의 열정과 재능으로 많은 사람들을 감동시킵니다.

**地元に根付いた大賀ホールの活動などはありますか？**

**大西** 軽井沢少年少女合唱団といふのを大賀ホール誕生を機にホールを本拠地とした合唱団として設立しました。現在27名の団員が在籍し、2005年5月のグランドオープニングでヴィーン少年合唱団との共演

が実現しました。私の将来の希望は、小さな頃から自然に音楽がある暮らし、大賀ホールはいつも練習していた行き慣れた場所で、こういう地元軽井沢の子供たちがいざれ大きくなつて、愛着のあるホールの運営に携わってくれたらいな

なと思っています。素晴らしい環境と音楽を軽井沢から世界に向けて発信してもらいたいですね。

勉強をされていて、還暦を機に指揮活動を開始したんです。

19世紀に英國聖公会宣教師アレキサンダー・クロフト・ショーによつて軽井沢に西洋音楽が紹介されてから120年以上たつた今、大賀ホールの活動を通して再び軽井沢に音楽の響きが戻ってきたことが喜ばしいことだと思います。

で初舞台を踏みました。指導は、東京オペラシンガーズメンバーの高島敦子先生が指導しています。

また、軽井沢ファミリー・オーケストラもあり、今年の春に軽井沢ジュニアオーケストラから子供から大人まで家族で演奏できるように、体制を改めました。小学3年生以上の方から大人の方まで、一緒にアンサンブルを創り上げていく団員を募集しています。東京フィルハーモニー交響楽団と軽井沢町は事業提携を結んでいますので、こういう活動が実現しました。